第十講「む・むず」／「らむ・けむ」

む・むず（＝「　・　ず」）

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	む							（四段型）
形	むず							型

問一　「いとどこそむつからめ」の傍線部の終止形、ここでの活用形を答えよ。

問二　「さて鷹飼はではいかがしたまはむずる。」の傍線部分を例にならって品詞分解せよ。

（例）

書き	し	文
カ行四段活用・連用形	助動詞「き」・連体形	名詞

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【意味】＝「**スイカかえて**」

①**推量**（～だろう）
②**意志**（～よう）
③**勧誘**（～ませんか）
④**仮定**（～としたら）
⑤**婉曲**（～ような）
⑥**適当**（～するのがよい）

★**〈意味の見分け方〉**＝「　　　」か「　　　」に分ける。

●「　　　」＝「仮定」・「婉曲」

（例）恋しから**む**ことの堪へがたく、…

●「　　　」＝「推量」・「意志」・「勧誘・適当」

（例）

「取りて参ら**ん**。」

この女をほかへ追いやら**む**とす。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「文中」の「む」の意味

●〜む＋**体言**→「　　　」

（例）恋しから**む**ことの堪へがたく、…

●〜む＋**助詞**→「　　　」

（例）ただ一度に答（いら）へ**む**も、…

★「文末」の「む」の意味→文脈判断。目安として**主語**確認。

●**一人称**→「　　　」

（例）「我こそ死な**め**。」

●**二人称**→「　　　」

（例）（ホトトギスに向かって）「今こそ鳴か**め**」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

●**三人称**→「　　」

（例）何人か迎へきこえ**む**。

※「**勧誘・適当**」の「む」の主語＝必ず「　　」になる。

※「　　」**の上の「む」**→「　　」が多い。

（例）翁の、孫を見**む**と思ひけむは理なり。

※「こそ〜**め**」の「**め**」
「て**む**」の「**む**」
「な**む**」の「**む**」
→「　　・　　」が多い。

（例）「花を見てこそ帰り給は**め**。」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　次の傍線部の文法的意味を答えよ。

①　「我もいかで、腰折れたらん雀見つけて、飼はん」と思ひて、…

②　海ならずたたへる水の底までもきよき心は月ぞ照らさむ

③　人の上に立たむこと、月を越ゆべからず。

④　「誰(たれ)ならむ」と言ふに、…

⑤　かまどなどは、歌に詠まむには卑しき詞なれど、…

⑥　「とくこそ試みさせ給はめ。」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　「我またよくその矢を取り得たらんには、何をか給はり候ふぞ」の傍線部の意味を、次の中から選べ。

ア　打消　　イ　推量　　ウ　意志

エ　仮定　　オ　婉曲

問五　「かかることにてこそあらめ。」の傍線部と文法的意味が同じものを、次の中から選べ。

ア　世の人の思はんことも候ふなれば…

イ　さあらんには、尊き僧たちの…

ウ　悩ませ給ふらんこそ心得られね。

エ　名告りをせんほどのしるしはありなん。

問六　「心澄まさむ人は見ぬべきさまなる」の傍線部の意味を答えよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問七　「われ修復せ[ん]といへば、…」の傍線部の文法的説明として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　推量の助動詞
イ　意志の助動詞
ウ　適当の助動詞
エ　勧誘の助動詞
オ　仮定の助動詞

問八　次の傍線部のうち、助動詞「む」の婉曲用法と考えられるものはどれか。正しいものを後の中から選べ。

女君は、かくな[a]むとたしかに知らせたてまつり給はざりけるを、…
「二三日ははべりな[b]む」と聞こえ給ふ。
若君を見給ふもいかが浅く思され[c]む。
何も、書きたら[d]むものは、読みてむや。
いと里離れて渡ら[e]むことも難きを、…

ア　aとb　　イ　bとc　　ウ　cとd
エ　dとe　　オ　aとe

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

らむ・けむ（＝「ら　　・け　　」）

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
	らむ							（四段型）
形	けむ							（四段型）

問九　「作りごとせんずらん、…」の傍線部を単語ごとに分けるとすると、どのように分けられるか。最も適切なものを次の中から選べ。（「／」は区切りを示す）

ア　せんず／らん　　　イ　せん／ずらん
ウ　せ／んずらん　　　エ　せ／んず／らん
オ　せ／ん／ずらん　　カ　せ／ん／ずら／ん

【意味】

〈違い〉＝「時制」
「らむ」＝「　　　　　」
「けむ」＝「　　　　　」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈共通〉
①　推量（〜だろう）
②　原因推量（どうして〜だろう）
③　伝聞（〜とかいう）
④　婉曲（〜ような）

※〈共通〉の意味の上にそれぞれ「時制」を全て付け足す。訳もそれぞれ時制を加えて訳すこと。

★〈意味の見分け方〉＝「　　　　　」か「　　　　　」に分ける。
●「　　　　」＝時制＋「推量」・「原因推量」
●「　　　　」＝時制＋「伝聞」・「婉曲」

★「　　　　」の意味の見分け方
●「　　　　」→推量
（例）　また異所（ことどころ）にかぐや姫と申す人ぞおはします**らむ**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

●「　　　　　　」→原因推量

（例）　桜の花の散るを見て詠める。
　　久方の光のどけき春の日にしづ心なく花の散る**らむ**

※あくまで目安で、文脈判断が必要。

（例）　老いたる母など、（頭に鼎をかぶり抜けなくなった者の）枕上に寄りゐて泣き悲しめども、
　　聞く**らむ**ともおぼえず。

●文中に、**「どうして〜」と訳せる疑問語、係助詞「や」・「か」**がある場合→「　　　　　　」が多い。

（例）　「我に、などかいささかのたまふ（おっしゃる）ことのなかり**けむ**」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十　次の傍線部の文法的意味を答えよ。

①　涙さへなどとまらざるらむ

②　駒並べていざ見に行かむ古里は雪とのみこそ花は散るらめ

③　人違へにてぞあるらむ。

④　見渡せば山もとかすむ水無瀬川夕べは秋と何思ひけむ

問十一　「あらざりけん」の傍線部の助動詞の意味として正しいものを、次の中から選べ。

ア　現在の推量　　イ　過去の推量　　ウ　適当

エ　断定　　オ　伝聞推定

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十二　「この翁、年は八、九十にもなりぬらんと見えて、…」の傍線部の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　打消推量　イ　現在推量　ウ　過去推量　エ　存続　オ　過去

問十三　「年月をいかでわが身に送りけむ昨日見し人今日はなき世に」の傍線部の説明として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　過去にあったことを詠嘆を込めて述べる時に用いる助動詞
イ　過去のことを推量する時に用いる助動詞
ウ　過去に体験したことを述べる時に用いる助動詞
エ　詠嘆をあらわす間投助詞
オ　助動詞「けり」の連体形の音便

問十四　「抑（そもそも）いかなる御事にて、かく親しくなりまゐらせつらむ」の傍線部と同じ意味を表しているものを、次の中から選べ。

ア　御前に候ふ人々も、をこがましく思ふらん
イ　鸚鵡いとあはれなり。人の言ふらんことをまねぶらんよ
ウ　などや苦しきめを見るらむ
エ　おぼすらむこと、何事ぞ
オ　これや我が求むる山ならむと思ひて

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十五　次の空欄Ａ、Ｂには助動詞「らむ」または「けむ」が入る。それぞれに合う助動詞を適切な形にして、記せ。

「かかる所にながめたまふ［Ａ］心の中のあはれに、…」

一つ橋危がりて帰り来たり［Ｂ］者のやうに、わびしくおぼゆ。

Ａ＝

Ｂ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十講

①　「当たらんずる」を品詞ごとに区切ったものとして最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

ア　当た・らん・ずる　　イ　当たら・ん・ず・る　　ウ　当たら・んずる
エ　当たら・んず・る　　オ　当たら・ん・ずる

②　次の傍線部の意味として、最も適当なものを後の中から選べ。

もろこしからのことばにて、長きことなど物語りするをわきより見たらむは、この国のことばにてこの国の人と物語りするに、違ひはなからむと思ふなめれど、…

ア　意志　　イ　推量　　ウ　命令　　エ　仮定　　オ　勧誘

③　「我が行ひを五つ、六つ重ねたらんほどに行ふ者ありけり。」の傍線部の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　婉曲　　イ　意志　　ウ　尊敬　　エ　打消　　オ　存続

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④「一方ならぬ哀れさも、誰ゆゑとこそ思ひけめ。」の傍線部の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　婉曲　　イ　過去　　ウ　過去推量　　エ　強意　　オ　推量

⑤「さて都にも心安くておはすらんと思はば、…」の傍線部の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　可能　　イ　自発　　ウ　打消推量　　エ　過去推量　　オ　現在推量

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十講　模範解答

問一　む・已然形

問二

サ行変格活用・連用形	ハ行四段活用・未然形	助動詞「むず」・連体形
し	たまは	むずる

問三　①　意志　②　推量　③　婉曲　④　推量　⑤　仮定　⑥　適当（勧誘）

問四　エ

問五　エ

問六　婉曲

問七　イ

問八　エ

問九　エ

問十　①　現在原因推量　②　現在推量　③　現在推量　④　過去原因推量

問十一　イ

問十二　イ

問十三　イ

問十四　ウ

問十五　A　らむ　B　けむ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十講　模範解答・解説

〔解説〕

① この「ん」＝「む」で「当たらむずる」。「むず」は「む」と「ず」に切らない（助動詞「ず」の上は未然形だが、「む」は未然形ではない）。「むずる」の「る」は、「る」の識別の復習。「る」の上の音がｕ段なので、上からの一語と考えられる。したがって、「むずる」で一語である（助動詞「むず」の連体形）。「当たら」と四段活用の未然形に接続もしているので、「当たら」＋「むずる」である。よって、正解はウ。

② 文中の「む」＝「仮定」か「婉曲」。下が体言ではないので「仮定」から考える。選択肢に「婉曲」がないことからも「仮定」と判断できる。よって、エが正解。

③ この「ん」＝「む」。②同様、文中で下が「ほど」＝体言なので、婉曲。よって、正解はア。

④ 「けめ」＝助動詞「けむ」の已然形（上が「思ひ」でハ行四段活用の連用形。文中に「こそ」があるので、文末は已然形）。よって、過去推量のウが正解。

⑤ 「らん」＝助動詞「らむ」の終止形（上が「おはす」でサ変の終止形。「と」の上で係助詞もなく、傍線部は終止形か命令形。命令形の「らん」など存在しないため、終止形である）。よって、現在推量のオが正解。

〔解答〕

① ウ　② エ　③ ア　④ ウ　⑤ オ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。